

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-300982

(P2002-300982A)

(43) 公開日 平成14年10月15日 (2002. 10. 15)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 7 K 4/00

識別記号

F I

A 4 7 K 4/00

テーマコード(参考)

2 D 0 3 2

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-106142(P2001-106142)

(22) 出願日 平成13年4月4日(2001. 4. 4)

(71) 出願人 501362906

積水ホームテクノ株式会社

大阪府大阪市淀川区宮原三丁目4番30号

(72) 発明者 笠井 秀樹

奈良市三条大路4-1-1 積水化学工業株式会社内

(72) 発明者 宮崎 和由紀

奈良市三条大路4-1-1 積水化学工業株式会社内

(74) 代理人 100102956

弁理士 九十九 高秋

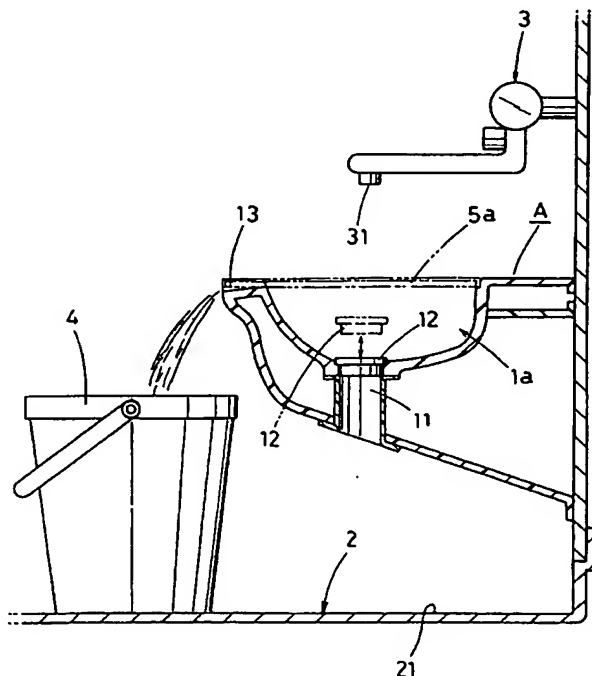
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 浴室ユニットのカウンタ

(57) 【要約】

【課題】洗面ボールや洗面器受け部などの直上の蛇口からの湯や水をシャワーを用いることなく、洗い場床面に載置したバケツ等の深い容器へもうまく供給することができる浴室ユニットのカウンタを提供することを目的としている。

【解決手段】カウンタ上面より凹設され、上部壁面に設けられた蛇口から流下する湯や水を貯溜可能な洗面ボールを備え、洗い場壁面に沿って設けられる浴室ユニットのカウンタにおいて、前記洗面ボールが、洗面ボールに溜まった湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させることが可能な流路をその上端部に備えている構成とした。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】カウンタ上面より凹設され、上部壁面に設けられた蛇口から流下する湯や水を貯溜可能な洗面ボールを備え、洗い場壁面に沿って設けられる浴室ユニットのカウンタにおいて、前記洗面ボールが、洗面ボールに溜まった湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させることが可能な流路をその上端部に備えていることを特徴とする浴室ユニットのカウンタ。

【請求項 2】洗面ボールを覆う蓋を備えている請求項 1 に記載の浴室ユニットのカウンタ。

【請求項 3】カウンタ上面より凹設され、上部壁面に設けられた蛇口から流下する湯や水を貯溜可能な洗面ボールを備え、洗い場壁面に沿って設けられる浴室ユニットのカウンタにおいて、洗面ボールの上面を覆うとともに、洗面ボールを覆った状態で蛇口を下方から臨む部分に、湯や水を受ける凹部が設けられているとともに、凹部に流下した湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させることが可能な流路を有する洗面ボールの蓋を備えていることを特徴とする浴室ユニットのカウンタ。

【請求項 4】上面に洗面器受ける洗面器受け部を備える浴室ユニットのカウンタにおいて、洗面器受け部の蛇口を下方から臨む部分に、湯や水を受ける凹部が設けられているとともに、凹部に流下した湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させるように、カウンタ側面に開口する流路路を備えていることを特徴とする浴室ユニットのカウンタ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、浴室ユニットのカウンタに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の浴室ユニットには、洗髪する際のシャンプーやリンス、あるいは、体を洗う際の石ケン等を載置することができるとともに、入浴者が楽な姿勢で洗顔や洗髪等を行なえるようにカウンタが洗い場側壁面に沿って設けられている。そして、近頃は、入浴者が椅子に座った状態であまり屈んだりすることなく洗髪や洗顔を行なえるように、特開平 11-22169 号公報のように洗面ボールを一体に備えたカウンタが上市されている。

【0003】また、このような洗面ボール付きカウンタを備えた浴室ユニットの場合、洗面ボールの正面壁に湯や水の給水栓が設けられ、この給水栓の蛇口から流下した湯や水を蛇口直下の洗面ボールに流下させるようになっている。しかし、このような洗面ボール付きカウンタの場合、洗面器や洗面ボールへ流下した水が跳ねたりしにくくするとともに、操作性の問題からカウンタ上面に

近い位置に給水栓の蛇口が設けられている。

【0004】したがって、この給水栓の蛇口を用いてバケツなどの深い容器に湯や水を入れることができない。そこで、このような浴室ユニットの場合、洗い場床面に載置したバケツなどに湯や水を入れる場合、シャワーノズルを利用するしかないが、シャワーヘッドをバケツなどに直接放り込むと不潔であるため、容器内に湯や水が溜まるまでシャワーヘッドを手で支えておかなければならず非常に面倒である。

【0005】また、洗面ボールがなく、蛇口の直下に洗面器を安定して受けることができるように洗面器受け部を備えたカウンタも上市されているが、このようなカウンタの場合も、蛇口と洗面器受け部との間にバケツを置くような間隔がない。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような事情に鑑みて、洗面ボールや洗面器受け部などの直上の蛇口からの湯や水をシャワーを用いることなく、洗い場床面に載置したバケツ等の深い容器へもうまく供給することができる浴室ユニットのカウンタを提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するために、本発明にかかる請求項 1 に記載の浴室ユニットのカウンタ（以下、「請求項 1 のカウンタ」と記す）は、カウンタ上面より凹設され、上部壁面に設けられた蛇口から流下する湯や水を貯溜可能な洗面ボールを備え、洗い場壁面に沿って設けられる浴室ユニットのカウンタにおいて、前記洗面ボールが、洗面ボールに溜まった湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させることが可能な流路をその上端部に備えている構成とした。

【0008】本発明にかかる請求項 2 に記載の浴室ユニットのカウンタ（以下、「請求項 2 のカウンタ」と記す）は、請求項 1 のカウンタにおいて、洗面ボールを覆う蓋を備えている構成とした。

【0009】本発明にかかる請求項 3 に記載の浴室ユニットのカウンタ（以下、「請求項 3 のカウンタ」と記す）は、カウンタ上面より凹設され、上部壁面に設けられた蛇口から流下する湯や水を貯溜可能な洗面ボールを備え、洗い場壁面に沿って設けられる浴室ユニットのカウンタにおいて、洗面ボールの上面を覆うとともに、洗面ボールを覆った状態で蛇口を下方から臨む部分に、湯や水を受ける凹部が設けられているとともに、凹部に流下した湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させることが可能な流路を有する洗面ボールの蓋を備えている構成とした。

【0010】本発明にかかる請求項 4 に記載の浴室ユニットのカウンタ（以下、「請求項 4 のカウンタ」と記

す)は、上面に洗面器を受ける洗面器受け部を備える浴室ユニットのカウンスにおいて、洗面器受け部の蛇口を下方から臨む部分に、湯や水を受ける凹部が設けられているとともに、凹部に流下した湯や水を浴室の洗い場床面に載置された容器によって受けられる幅にして容器内に流下させるように、カウンス側面に開口する流路路を備えている構成とした。

【0011】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を、図面を参照しつつ詳しく説明する。図1～図3は、請求項1のカウンスの1つの実施の形態をあらわしている。

【0012】図1～図3に示すように、このカウンスAは、浴室ユニットUの側壁面Wに沿って設けられていて、中央部に洗面ボール1aを一体に備えている。また、洗面ボール1aは、その一部が他のカウンス部分より洗い場2側に膨出するように形成されていて、図2に示すように、底に洗い場2の床面21の近傍で開口する排水孔11が設けられている。

【0013】排水孔11には、この排水孔11を開閉自在な栓12が設けられている。すなわち、排水孔11に栓12で止水した状態で給水栓3の蛇口31から流下する湯や水を溜めることができるようになっている。また、洗面ボール1aの上端縁の最も洗い場2側には、洗面ボール1aの上端部が切りかかれるようにして流路13が設けられている。

【0014】流路13は、洗面ボール1a内側から洗い場2側に向かって下り勾配になっていて、洗面ボール1aに溜まって溢れ出ようとする湯や水を、図2に示すように、洗い場床面Fに載置されたバケツ4によって受けられる幅にしてバケツ4内に流下させることができるようになっている。また、このカウンスAは、洗面ボール1aの上面を覆う蓋5aを備えており、図3に示すように、洗面ボール1aを蓋5aの上に洗面器(図示せず)を載せれば、蛇口31からの湯や水を洗面器で受けることができるようになっている。

【0015】このカウンスAは、以上ようになっており、蓋5aを開けて排水孔11を栓12で閉じれば、洗面ボール1a内に蛇口31から流下した湯や水を溜めて椅子に座った状態で楽に洗面や洗髪を行なうことができる。また、流路13を臨ませるように洗い場2の床面21の洗面ボール1a近傍にバケツ4を置き、蓋5aを開けて排水孔11を栓12で閉じて洗面ボール1a内に蛇口31から湯や水を流下させ続けると、やがて流路13から湯や水がオーバーフローし、流路13の傾斜によってバケツ4内に流入する。すなわち、シャワーを用いなくても、洗い場2の床面21に置いたバケツ4に湯や水を入れることができるようになる。

【0016】図4は、請求項3のカウンスの1つの実施の形態をあらわしている。図4に示すように、このカウンスBは、洗面ボール1bの上面を覆う蓋5bを備えてい

る。

【0017】洗面ボール1bは、流路13が設けられていない以外は、上記カウンスAと同様になっている。一方、蓋5bは、凹部52とこの凹部52につながる後で詳述する流路となる溝53とを備えている。

【0018】すなわち、凹部52は、図4に示すように、蓋5bが洗面ボール1bを覆った状態にしたとき、蛇口31を下方から臨む部分に設けられている。溝53は、蓋5bの洗い場21側の側面に開口しているとともに、凹部52側から洗い場2側に向かって下り勾配になっている。

【0019】このカウンスBは、以上のようにになっているので、蓋5bで洗面ボール1b上面を覆うようにすれば、洗面器(図示せず)を安定よくカウンスB上に載せて蛇口31からの湯や水を洗面器で受けることができるとともに、洗面器を蓋5bの上にのせず、蛇口31からの湯や水を凹部52に直接流下させると、凹部52に流下した湯や水が溝53を通してその開口部から洗い場方向にバケツで受けられる幅になって流れ出る。したがって、洗面ボール1b近傍の洗い場2の床面21にバケツを載置しておけば、溝53の開口部から流出した湯や水をバケツで容易に受けることができる。

【0020】図5は、請求項5のカウンスの1つの実施の形態をあらわしている。図5に示すように、このカウンスCは、その一部に洗面器受け部6が設けられている。

【0021】洗面器受け部6は、その上面に凹部61と、この凹部61につながる後で詳述する流路となる溝62とを備えている。すなわち、凹部61は、図5に示すように、蛇口31を下方から臨む部分に設けられている。

【0022】溝62は、カウンスCの洗い場21側の側面に開口しているとともに、凹部61側から洗い場2側に向かって下り勾配になっている。

【0023】このカウンスCは、以上のようにになっているので、洗面器受け部6に洗面器(図示せず)を安定よく載せて蛇口31からの湯や水を洗面器で受けることができるとともに、洗面器を洗面器受け部6の上にのせず、蛇口31からの湯や水を凹部61に直接流下させると、凹部61に流下した湯や水が溝62を通してその開口部から洗い場2方向にバケツで受けられる幅になって流れ出る。したがって、洗面器受け部6近傍の洗い場2の床面21にバケツを載置しておけば、溝62の開口部から流出した湯や水をバケツで容易に受けることができる。

【0024】本発明にかかる浴室ユニットのカウンスは、上記の実施の形態に限定されない。たとえば、上記の実施の形態では、流路が溝状に形成されていたが、洗面ボールあるいは蓋の側壁内部を貫通し、洗い場側の壁面に開口する孔を設けるようにしても構わない。また、

5

流路の出口または入口等に流路からの流水を防止するあるいは流路への蛇口からの流入を防止するシャッターを設けても良い。

【0025】

【発明の効果】本発明にかかる浴室ユニットのカウンタは、以上のように構成されているので、洗面ボールへ湯や水を供給する蛇口から洗い場床面に載置したバケツ等の深い容器へもうまく供給することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1のカウンタの1つの実施の形態をあらわす蓋を取り外した状態の斜視図である。

【図2】図1のカウンタの断面図である。

【図3】図1のカウンタの蓋を取り付けた状態の斜視図である。

【図4】請求項3のカウンタの1つの実施の形態をあらわす蓋を取り付けた状態の斜視図である。

【図5】請求項4のカウンタの1つの実施の形態をあらわす斜視図である。

【符号の説明】

A, B, C カウンタ

U 浴室ユニット

W 壁面

1a, 1b 洗面ボール

13 流路

2 洗い場

21 床面

3 給水栓

31 蛇口

4 バケツ (容器)

5a, 5b 蓋

52 凹部

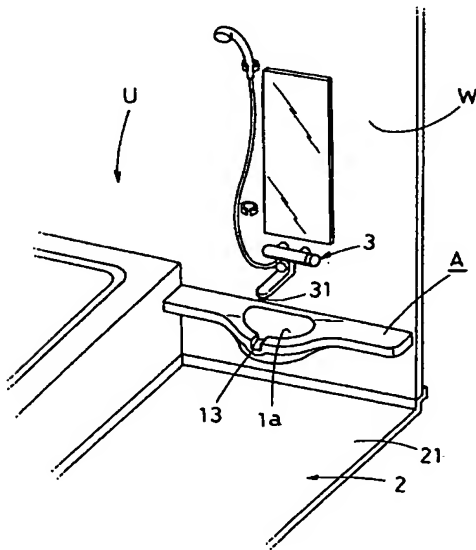
53 溝 (流路)

6 洗面器受け部

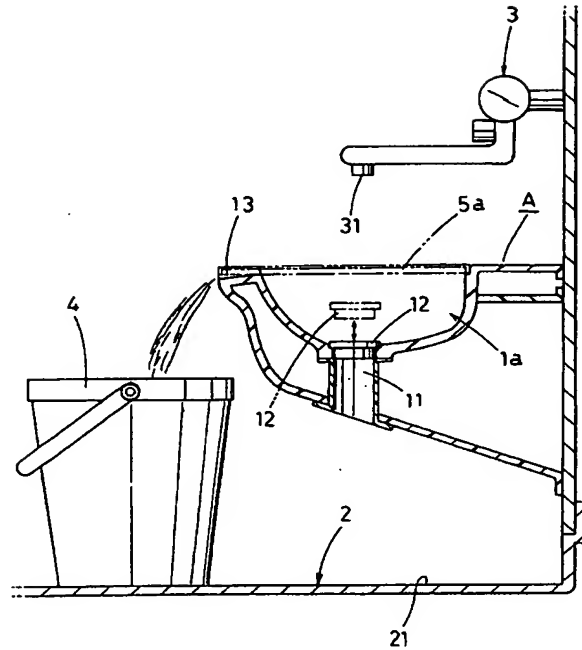
61 凹部

62 溝 (流路)

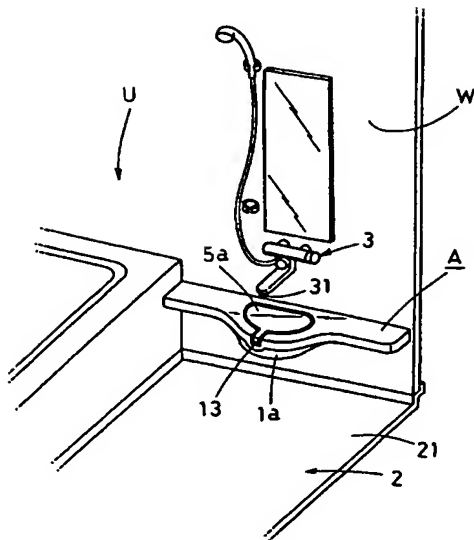
【図1】



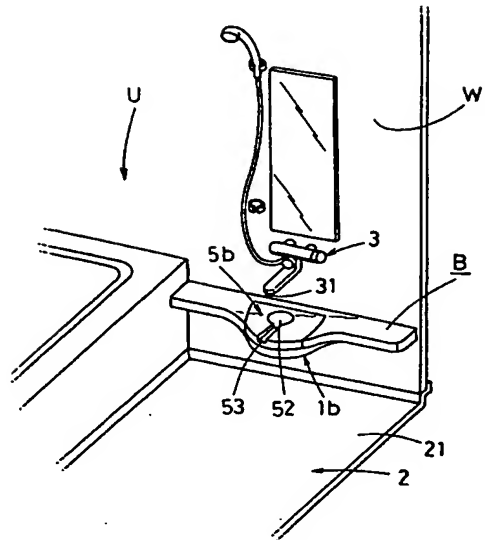
【図2】



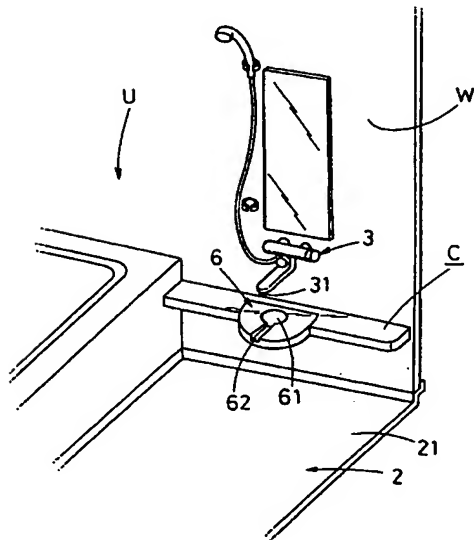
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

Fターム(参考) 2D032 GA04